



主催 東近江市人権のまちづくり協議会・東近江市教育委員会

ぬくもりメッセージ

2023

人に優しい『気づき』『つながり』を

自分らしく生きるって当たり前のことだと思っていた
でも できない人もいることを知った
大事なことは いろいろな人のことを知ること
そこで 一人一人が「心」を育てていけばいい

気づいたときが スタート



「人が幸せになるために」自分のこと、友だちのこと、家族のこと、地域のことなど、それぞれの大切な思いを「標語」、「メッセージ」、「ポスター」の心温まる作品にして応募をいただきました。

■ 募集期間 令和5年8月28日から12月7日まで

■ 応募点数 10,169点

◇標語 8,434点

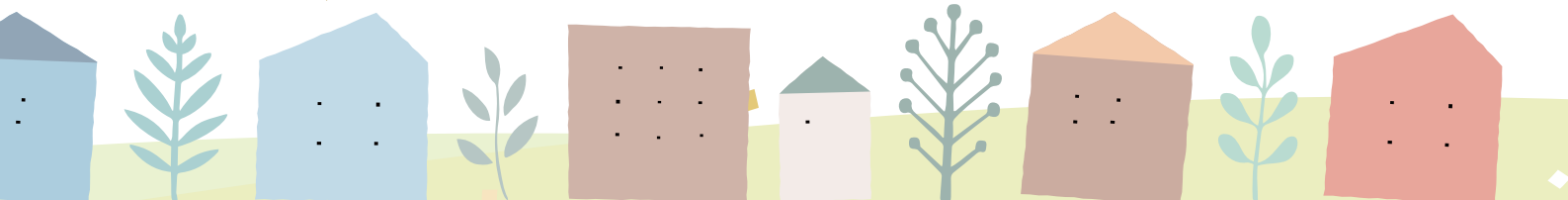
◇メッセージ 404点

◇ポスター 1,331点

多数の応募ありがとうございました。

この作品集では多数の応募の中から、最優秀作品、優秀作品を掲載しています。

「ぬくもりメッセージ」にこめられた思いをみんなで受け止め、これからも『人権文化の花咲くまちづくり』に向けた積極的な取組をお願いします。



標語部門(小学生 低学年)

最優秀賞

ひとりひとり みんなだれかの たからもの

能登川南小学校1年 谷口 桜花さん

しあわせを みんなでつくる おもいやり

人の良さ 見た目じゃなくて 心だよ

そのまま あなたのままで いいんだよ

またあした あしたのあしたも あそぼうね

止まっていたら始まらない 一歩ふみだし はじめよう

友だちの めくもり えがお たからもの

大丈夫? 一人じゃないよ みんないるよ

いえなかった おはようを きょうは ぼくから いてみる

気づいてよ 悲しい気持ち あふれそう

ともだちも じぶんもだいじにしていこう

まわりみて ぽかぽかことば みつけたよ

御園小学校3年

山本 千早さん

八日市南小学校3年

安川 夏治郎さん

八日市西小学校1年

東 壘生さん

八日市北小学校1年

中川 月陽さん

布引小学校3年

井上 恵斗さん

五個荘小学校3年

川島 穂さん

愛東南小学校3年

村山 葵さん

能登川東小学校1年

島山 湊一さん

蒲生北小学校3年

高橋 桜奈さん

山上小学校1年

野田 椋木さん

能登川西小学校3年

面谷 篤人さん

標語部門(小学生 高学年)

最優秀賞

みんなの笑顔 あふれだすと 幸せいっぱい

愛東南小学校5年 横田 莉奈さん

あいさつは みんなの笑顔の おまじない

ありがとう まほうの言葉で 笑顔になる

ゲームより 人との時間 たいせつに

つらいこと きょうりよくしたら ふんばれる

みんながいる ぼくはそれだけで 幸せだ

ありがとう その一言で 笑顔咲く

やさしさは みんなのいのちを まもるもの

あいさつは 心を開く かぎになる

友だちと すなおな心で なかなかおり

気づこうね 人それぞれに ちがうんだ

ありがとう その一言で 笑顔になれる

ありがとう 感謝の思い 伝えよう

玉緒小学校6年

奥田 麻鈴さん

御園小学校4年

小森 颯馬さん

八日市南小学校4年

小嶋 里来さん

能登川東小学校4年

甲斐 碧さん

能登川南小学校4年

田井中 陽向さん

箕作小学校6年

西坂 柚さん

愛東北小学校5年

藤関 勇帆さん

五個荘小学校6年

中村 真優さん

湖東第三小学校6年

竹花 リサさん

市原小学校5年

山田 隼大さん

能登川北小学校4年

福岡 未結那さん

蒲生西小学校6年

松村 さくらさん



標語部門(中学生)

SNS 一瞬でうてて 一生消えない

聖徳中学校1年 久田 すずみさん

みな違う 認めてほしい 当たり前

玉園中学校1年
野中 聖紀さん

違う個性 否定するより 認め合おう

船岡中学校1年
村田 友希奈さん

聞いてみて 助けを待ってる 人の声

永源寺中学校1年
岡崎 湊大さん

なぜ差別 自分と違う それだけで

五個荘中学校3年
松井 葵さん

一言が 友の笑顔を 左右する

愛東中学校3年
上田 陽翔さん

認め合おう みんな違って 当たり前

湖東中学校1年
辻 小鈴さん

きめつけない きめつけるから 差別がある

能登川中学校1年
沢 拓磨さん

自分色 互いに認め 育て合う

朝桜中学校3年
田中 桜佳さん

君の手が あるのは誰かを 守るため

滋賀学園中学校3年
奥井 龍信さん



標語部門(一般)

ありがとう おたがい様で 深まる絆

内田 英子さん

いつの日も 心と言葉に 思いやり

野口 将太郎さん

忘れずに 感謝の言葉 ありがとう

安田 拓未さん

ごめんなさい 素直に言える 強き心

永福 保恵さん

どうしたの その一言が 思いやり



※本人の希望により氏名の記載をしていない作品があります。



メッセージ部門 (小学生 高学年)

最優秀賞

多角的な視点の大切さ

八日市南小学校6年 松原 滯さん

みなさんは、友達と仲がよくなるためには何が大切か考えたことはありませんか。私は仲よくなるためには、自分の考えを表に出して相手に理解してもらうこと、あるいは相手の考えについて理解しようと努力することが大切だと思います。前の私は後者のほうができておらず、自分の考えばかり出してしまいました。なので話し合いなどでは考えがまとまらず、大変でした。その話し合いをふり返ってみたら、相手の考えばかりを批判していたことに気づきました。そのことについて学んだ私は話し合いの時、相手の話に耳をかたむけてみました。今まではきちんと話を聞いてなかったから分からなかった相手の気持ちを知れて、友達との仲が深まりました。

これからも、相手の考えについて理解しようとするように努力し、物事を見る視点を増やしていきたいと思います。

いじめごっこ

八日市北小学校6年 磯部 瑚翔さん

私は、いじめがなくなってほしいです。いじめで簡単に人がなくなってしまうます。

たった一言で、ちょっとしたこと傷つきます。今は、ネットでのいじめもたくさん起きています。ネットでつぶやいた、この一言でとても傷つく人がいるかもしれません。

いじめている人は、とても楽しいかもしれません。けれど、いじめられている人からしたらとてもつらいです。いじめられても誰にも助けを求められなかったり、誰も相手にしてくれなかったりして、とてもつらいです。

いじめられると、不登校になる、トラウマになる、病院に通う、外に行けなくなる、ひどいと亡くなる方もいます。いじめは、軽いものでも遊びでもありません。いじめは犯罪です。

私は、この世界からいじめがなくなれば、暴力や暴言がなくなり、平和で幸せな世界になると思います。だからこそ、これから、いじめが減っていくとよいと思います。

すべての人が幸せに

湖東第一小学校6年 中西 杏樹さん

私は、歴史で、戦争のことについて知りました。戦争では、たくさん人の命がなくなり、亡くなられた人の家族は悲しみにつつまれることを知りました。それは昔だけでなく今の時代にもおこっていることです。戦争の中では、食べるものがなくて、亡くなっている人もいます。

戦争だけではなく、「いじめ」もその一つだと思います。戦争とはちがって個人のことかもしれないけど、それで悲しい人もいるからです。

「いじめ」で亡くなった命はもう、もどつてこないの、「いじめ」をなくすためにも人権と言うのはぜひ必要だと思えます。

一人ひとりの幸せを願う気持ちが強ければ「いじめ」はおこらないと思えました。

人権を守るために、私にできることは、だれとでも仲良く接することです。そして、私は、たくさんの人と友達になりたいです。笑顔を増やしていきたいです。



自分の意見を大切に

玉緒小学校5年 中西 奏太さん

みなさんは、自分の意見を先生や友達に言ったことはありますか。ぼくは、前までみんなと意見を合わせてしまうことが多く、自分の思っている意見をあまり言うことができませんでした。でも、今は自分の思っている意見をたくさん発表しています。

ぼくは、みんなと同じ意見になりたい、と思っでみんなの意見をまねしてしました。なぜなら、ほかの人と同じ意見だと安心するからです。逆に、みんなと同じ意見じゃないとほんとうにこの意見でいいか、少しあせつてきます。けれど、四年生になつて気がつきました。意見というのはちがうほうがいいということなんです。意見が同じだと、じゅ業などが面白くなくなります。みんな意見がちがうから面白いということに、ぼくは気がつきました。

ぼくは、これから、自分の意見をたくさん言つていきたいと思ひます。みなさんも、「自分の意見を大切に」してください。



メッセージ部門 (中学生)

最優秀賞

学校に来るのは当たり前じゃない

愛東中学校1年 大澤 寧愛さん

みなさんは、学校が好きですか。苦手ですか。私は学校が大好きです。学校に来るのはあたり前だと思つていましたが、人権学習で私の考えは大きく変わりました。人権週間では、朝読の時間に人権作文を読んでいきます。その中でも心に残つた言葉は、「学校に行けないことの辛さ」という言葉です。私は、その時学校に行きたいなら行けばいいのに、どうして学校に行きたいのに行かないの、など不思議に思いました。作文を読み進めていくと「学校に行けば私も輪に入れるのかな。」という言葉がありました。私は学校に行くのがあたり前だと思つていましたが、学校に行きたくても行けない人もいるということを忘れないでおきたいです。

私は、もしクラスから学校にこれない人がいたら「いつでも待ってるよ」「また、遊ぼうね」と声をかけ、少しでも気持ちを楽しませたいです。

「給食」と人権

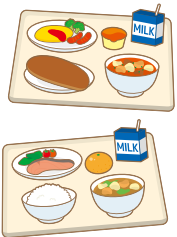
愛東中学校1年 藤関 心春さん

毎日、学校へ通い当たり前に食べている給食が食べられないと、どう思ひますか。

世の中には食物アレルギーという特定の食料を摂取すると、体がかゆくなつたり、呼吸が難しくなつたりする病氣を持つている人がいます。私の友達に食物アレルギーを持つている人がいて「皆と同じ給食が食べられて、めっちゃうれしかった。」という子がいました。

その子の給食は以前お弁当だったので、給食センターが変わり、対応食が給食に並ぶようになったのです。私は人権学習を通して給食にも人権が尊重されているのだと気づきました。人は皆とちがう行動がいやな時があり、皆と同じだと安心します。なのでアレルギーを持つている子もお弁当か給食か選べたら、迷わず給食を選び皆と同じ安心感をもつと思ひます。

これから人と同じことができない人がいても、同じようにするにはどうすればいいか、考へて生活していきたいです。



ポスター
部門

(小学生低学年)

最優秀賞



みんなともだち

湖東第一小学校1年

西澤 蘭可さん



かわいい えがお

御園小学校1年

奥井 莉咲さん



動物のお世話をすることで
地球はより豊かになる

日本ラチーノ学院2年

デオリベイラ エロイゼ ラファエリさん



ポスター
部門
(小学生高学年)

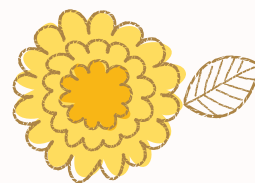
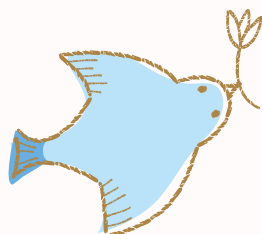
最優秀賞



笑顔大切にしよう

八日市北小学校4年

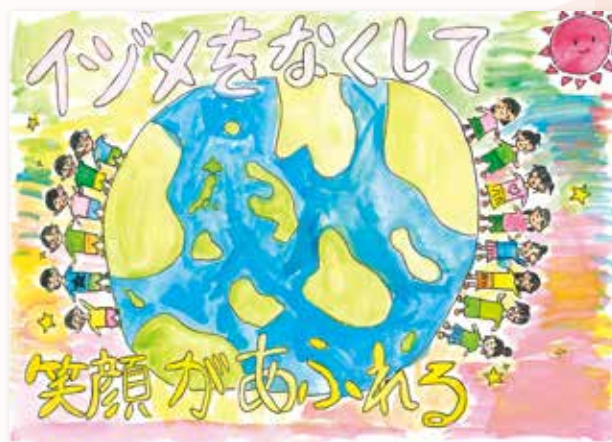
野田 ひまりさん



みんなの笑顔大切に

蒲生東小学校4年

田中 隆晟さん



イジメをなくして、笑顔あふれる

八日市北小学校4年

高木 杏さん

ポスター
部門
(中学生)

最優秀賞



世界はカラフル
五個荘中学校2年
北村 美郷 さん



彩る社会
朝桜中学校2年
西村 芽菜 さん



比べるものなのかな
聖徳中学校1年
縄田 彩々乃 さん



みんな違ってみんな良い
朝桜中学校3年 福田 夏紀さん



みんな違うから美しい
朝桜中学校2年 井関 花音さん

ポスター
部門
(一般)

最優秀賞

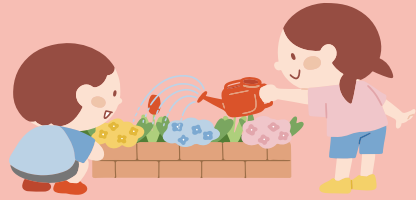


未来は自分で決める
日本ラチーノ学院
シオミ ジュリアナ ミユキさん



混乱した時は深呼吸して!!
日本ラチーノ学院 キハナ カイラニ ケイキさん





人権文化の花を咲かせましょう

HIGASHIOMI

東近江市教育委員会生涯学習課

IP : 050-5801-5672 FAX : 0748-24-1375